



2023年3月末の信用金庫の預金・貸出金動向（速報）

－ 2022年度中に預金は0.8%増、貸出金は1.3%増 －

井上 有弘

ポイント

- 2023年3月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は、160.2兆円、前年同月比伸び率は0.8%増となった。貸出金残高の合計は、79.8兆円、同1.3%増となり、過去最高額を更新した。
- 22年度中の預金者別預金の動きをみると、法人預金は伸び率が0%前後で推移し、個人預金は特別定額給付金の影響があった20年度の高い伸び率から鈍化傾向で推移した。貸出先別貸出金の動きをみると、年度の後半には、企業向け設備資金が伸び率を高めたこと、運転資金が増加に転じたことから、貸出金全体でも伸び率を高めている。個人向けでは、住宅ローンの伸びが底堅く、消費者ローンの減少率が縮小傾向にあるため、個人向け全体でもプラスに寄与している。
- 今後、ゼロゼロ融資が返済開始時期のピークを迎える。返済や借換対応が進むなかで、一部の中小企業に対しては、より踏み込んだ経営改善支援などの取組みが求められる。

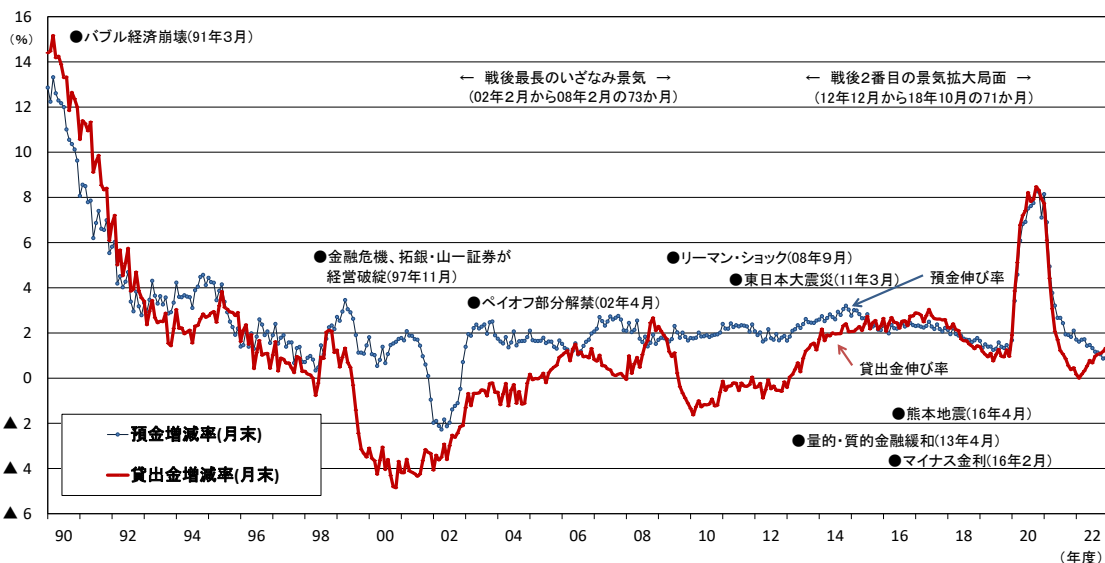
1. 2023年3月末の信用金庫の預金・貸出金

2023年3月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は、160.2兆円、前年同月比伸び率は0.8%増となった(図表1)。貸出金残高の合計は、79.8兆円、同1.3%増となった。貸出金残高は、月末ベースで過去最高額を更新した。

信用金庫の預金、貸出金は、コロナ禍での資金繰り支援により20年度に約28年ぶりの高い伸び率を示したが、21年度に入ると資金繰り支援の一巡から大きく低下していた。22年度は、預金の伸び率が鈍化傾向を続ける一方、貸出金の伸び率は22年5月末に一時同0.0%減とわずかにマイナスとなって以降は徐々に高まっている。このため、23年1月以降は、貸出金の伸び率が預金の伸び率を上回って推移している。

23年3月末の預貸率は49.8%となり、前年同月の49.6%をわずかに上回った。

(図表1) 信用金庫の預金・貸出金動向（前年同月末比増減率）



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

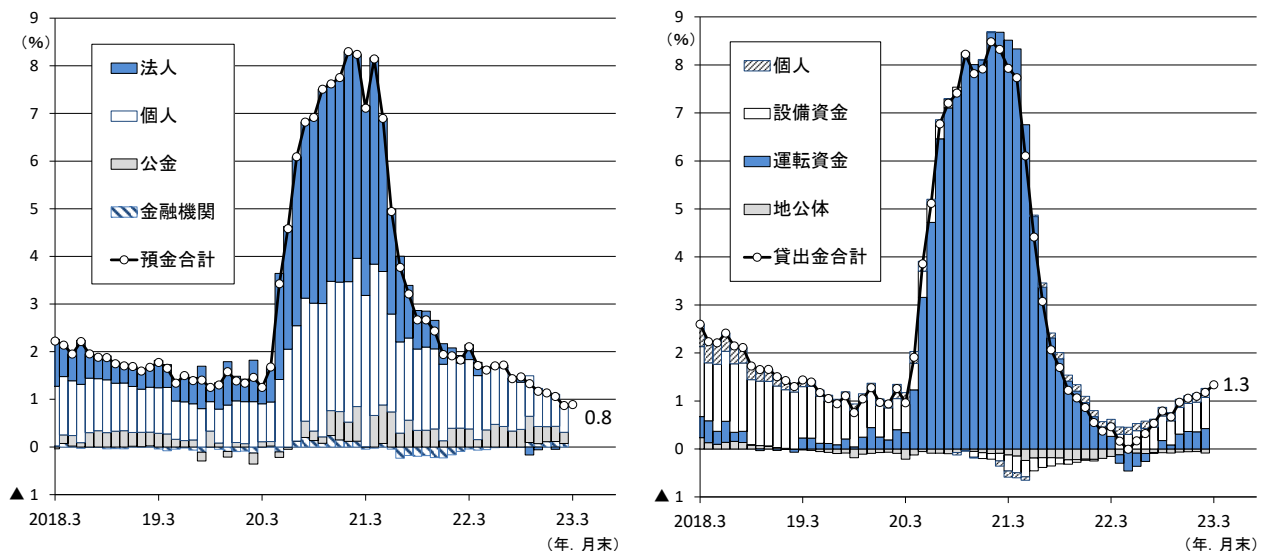
2. 貸出先別・預金者別の動向

預金者別、貸出先別の内訳が分かる23年2月末までの動向をみると、20年春以降、預金は、コロナ禍での資金繰り資金や各種給付金の預金口座での滞留、家計の消費抑制などから、法人預金、個人預金がともに大きく増加した。貸出金も、各地の信用金庫がコロナ禍での資金繰り支援を積極的に行ったため、企業向け運転資金が急増した(図表2)。

22年度中の預金者別預金の動きをみると、法人預金は、伸び率が0%前後で推移し、手元資金が返済によって大きく減る動きは総じてみられない。個人預金は、特別定額給付金の影響があった20年度の高い伸び率から鈍化傾向で推移した。特に23年に入ると感染状況が落ち着いてきたことを背景とした消費活動の再開などから、個人預金の伸び率が一段と鈍化した。

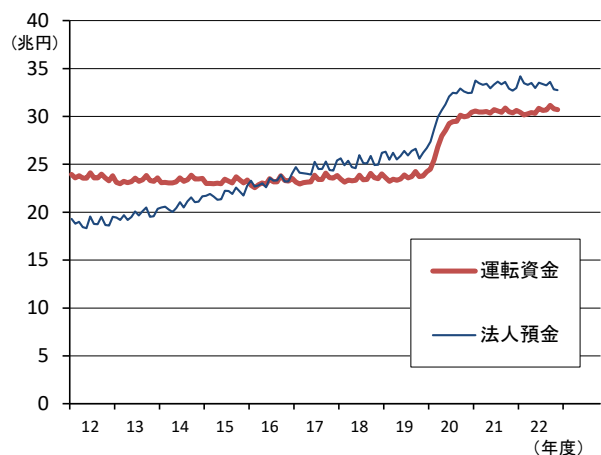
22年度中の貸出先別貸出金の動きをみると、年度の前半に資金繰り支援の一巡から企業向け運転資金が減少に転じたため、貸出金全体でも22年5月にわずかに減少となった。年度の後半には、企業向け設備資金が伸び率を高めたこと、運転資金が増加に転じたことから、貸出金全体でも伸び率を高めている。設備資金の増勢には、ポストコロナを見据えた事業の再構築によるものも含まれていると考えられる。個人向けでは、コロナ禍でも増加を続けてきた住宅ローンの伸びが底堅く、給付金や消費抑制で返済が進んだ消費者ローンの減少率が縮小傾向にあるため、個人向け全体でもプラスに寄与している。

(図表2) 信用金庫の貸出先別貸出金・預金者別預金の動向 (前年同月比増減率と寄与度分解)



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表3) 信用金庫の企業向け運転資金と法人預金の残高推移(～2023年2月末)



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 返済本格化が見込まれるゼロゼロ融資

現状では、企業向け運転資金、法人預金ともコロナ禍での急増後、伸び率は大きく低下したものの、残高は高水準のままである(図表3)。

今後、民間金融機関による実質無利子・無担保の制度融資(ゼロゼロ融資)は、返済開始時期のピークを迎える。返済や借換対応が進むなかで、一部の中小企業に対しては、より踏み込んだ経営改善支援などの取組みが求められてくる。

以上

※「信用金庫地区別預金・貸出金(残高)」、「信用金庫預金、現金、貸出金残高(地区・都道府県別)」を信用金庫に還元しております。併せて、ご活用ください。

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。